

国立大学図書館蔵書の電子書籍化に関するアンケート（金沢大）回答用紙

回答機関名	
回答者所属・氏名	
連絡先 e-mail	

【設問1】近年、学術書籍の電子書籍化が進んでいますが、どのように感じていますか？各館における実感を以下の中から選んでください。★

- よく利用されている
- 書籍タイプによってはよく利用されている（具体例：_____）
- あまり利用されていない
- よく分からない

【設問2】電子書籍には、「検索可能」「どこでも読める」「保存場所を取らない」といった多くのメリットがあります。その一方、図書館の蔵書を電子書籍化した場合、問題があると考えられます。特に何が問題だと思いますか？（3つまで選択可）★

- リーダーの性能（目の疲労，操作性等）
- 複数の電子書籍の同時参照が難しい
- 書架のブラウズによる書籍の探索が難しい
- どの資料が利用されているかの実感が把握しにくい
- 新着図書，お薦め図書など特定の図書を目立たせにくい
- 提供するベンダー等が倒産した場合に利用できなくなる
- その他（_____）

【設問3】蔵書タイプごとに電子化に向くものと向かないものがあると考えられます。以下の書籍タイプについて、10年後、大学図書館での新規購入分についてどれくらい電子化が進んでいると思いますか。以下の選択肢から程度を選んでください★

1 授業で使う教科書

- 90%以上 75%程度 50%程度 25%以下 大学図書館としては収集していない※
- 一概に言えない・分からない

※「電子貸出」の活用，個人による購入，国立国会図書館や他大学のアーカイブや青空文庫等オープンアクセス化された資料の活用等を含みます。以下についても同様。

2 研究等に使う専門書

- 90%以上 75%程度 50%程度 25%以下 大学図書館としては収集していない※
- 一概に言えない・分からない

3 教養書

- 90%以上 75%程度 50%程度 25%以下 大学図書館としては収集していない※
一概に言えない・分からない

4 実用書

- 90%以上 75%程度 50%程度 25%以下 大学図書館としては収集していない※
一概に言えない・分からない

5 参考図書

- 90%以上 75%程度 50%程度 25%以下 大学図書館としては収集していない※
一概に言えない・分からない

6 小説・エッセー等娯楽用の書籍

- 90%以上 75%程度 50%程度 25%以下 大学図書館としては収集していない※
一概に言えない・分からない

【設問4】電子書籍の導入によって、書架スペース問題を解決することも期待されています。そのためには、現在大学図書館が所蔵する既存の蔵書を大規模に除籍することが考えられます。大学図書館で所蔵する紙の書籍を減らすことについてどのような懸念がありますか？以下の中から選んでください。（複数回答可）★

- モノとしての価値のある書籍を廃棄してしまわないか？
知的な体系を一覧し、書架をブラウズするという図書館の重要な機能が失われないか？
サービスの低下にならないか（紙の書籍の方が利用しやすく、ニーズも高い）？
その他（)

【設問5】各館では、電子資料の導入にかかわらず、既存蔵書の保存方針、受入方針、除籍方針等の見直しを行い、既存蔵書について大規模に除籍等を行ったことはあるでしょうか？以下の中から選んでください。

- はい（→【設問6】へ） いいえ 検討中

【設問6】【設問5】で「はい」と回答された機関にお尋ねします。どのような内容でしょうか？簡潔にお書きください。

【設問7】利用頻度の落ちた蔵書の除籍を進めるためには、何が必要と思いますか？（自由記述）★

【設問8】貴大学で購読している電子書籍のタイトル数（平成29年度学術情報基盤実態調査と同じ数字で結構です）をお書きください。

国内（ ）タイトル 国外（ ）タイトル

【設問 9】電子書籍の利用統計を、入館者数や貸出冊数のように、公式な利用統計として用いていますか？以下の中から選んでください。

- はい
- 図書館概要や図書館 Web サイト等に掲載
 - 予算要求等の際の利用にとどめている
 - その他（ ）
- いいえ

【設問 10】【設問 8】で「はい」と回答された機関にお尋ねします。どのような方法で集計していますか？以下の中から選んでください。

- リンクリゾルバなど（システム名： ）
- 電子書籍のプラットフォームごとに集計（単体購読のタイトルについても集計）
- 電子書籍のプラットフォームごとに集計（大手のプラットフォームのみに限定）
- その他（ ）

【設問 11】電子書籍のメタデータはどのような方法で利用者に提供していますか？以下の中から選んでください。（複数回答可）

- 自館の OPAC にメタデータを登録
- リンクリゾルバ等を介して OPAC で提供
- Web サイト上でリスト（A to Z, 分野別）の公開
- その他（ ）

【設問 12】電子書籍の利用統計を選書に反映していますか （自由記述）

【設問 13】電子書籍の利用促進のために活動していることを以下の中から選んでください。（複数回答可）

- SNS によるコンテンツ（タイトル）の紹介
- 館内ポスターや POP の掲示
- 利用説明会
- その他（ ）

【設問 14】ベンダー単位の電子書籍試読サービスと利用者からの要求を組み合わせで購入タイトルを選定するサービス（例：Maruzen eBook Library 等で実施しているもの）を導入したことはありますか？

- はい いいえ 検討中

【設問 1 5】【設問 1 4】で「はい」と回答された機関にお尋ねします。どのベンダーのサービスを導入しましたか？また、実施した効果等があれば、お書きください。（自由記述）

（1）導入実績のあるベンダー名：

（2）実施後の効果等：

【設問 1 6】新刊の学術書籍が電子書籍として販売される場合、どういうビジネスモデル・価格・機能等だと良いと思いますか？（自由記述）★

【設問 1 7】永年保存する必要のない書籍の場合、公共図書館等で導入が始まっている「電子貸出」等に対応することも考えられます。大学図書館で導入するとした場合の問題点やご意見をお書きください。（自由記述）★